

作成日	<b>COMET</b>	発行
2021.0301 No.309		株式会社秋山製作所 企画・デザイン室

## MASK

コロナの影響で、マスクは日常生活で必需品となりました。今回は、そんなマスクの歴史について調べてみました。日本のマスクの歴史は大正年代に始まります。当初は「工場マスク」と言われ、文字通り工場内での粉塵よけとして作られたものでした。真鍮の金網を芯に、布地をフィルターとして取り付けたもので、工場用に限られており、吐息によって錆びてしまうなどの問題もあり、一般には普及しなかったそうです。

ところが、1919(大正8)年にインフルエンザが大流行すると、その予防品としてマスクが注目を集めました。当時の日本政府が国民への注意喚起に使ったポスターの標語で「マスクをかけぬ命知らず！」としたことから、その需要に拍車がかかり、供給が追いつかずメーカーが乱立し品質の低下を招きました。その後、関東大震災の頃までに需要も落ち着き、徐々に普及していったそうです。1934(昭和9)年、再びインフルエンザが猛威をふるった際にもマスクが流行しました。以後インフルエンザが流行する度に、マスクの出荷量も爆発的に増えていきました。それと共に様々な工夫も重ねられ、枠のない布地だけのものが誕生し、布地もガーゼが使われるようになるなど次第にその形を変えていきました。流行と衰退を繰り返したマスクは、現在の形になったのは昭和23年頃からだそうです。今や多様なカラーやデザインが当たり前のマスクは、オシャレを演出するアイテムのひとつとなっています。当社では、そんなマスクを装うニューアイテムを開発しました。ぜひ、お試しください。(M.U)

### 新製品 マスククリップ



マスクに挟むだけで、人とは違ったオシャレを楽しむことができます



## くろ玉

「鬼滅の刃」の次にきている「呪術廻戦」皆さんご存じですか？TVアニメも好評放送中の人気漫画で、この中に登場するキャラクター夏油傑(げとう すぐる)が呪術を使う際に用いるアイテムそっくりだと、山梨県産の和菓子「くろ玉」(澤田屋)がTwitterなどのSNSで話題となっています！

初めて見たときは、本当に「真っ黒い玉」に驚きましたが、食べてみると美味しくて！日本茶によく合う羊羹♡こんな形で全国の方たちにご当地銘菓を知ってもらえるのは、うれしいですね！澤田屋さんは、今年で110年を迎えるお菓子屋さん。くろ玉の誕生は、90年以上も前だそうです。ヒットのきっかけは、どこに転がっているか分からないなと思いました(笑)3月4日には、「いちご玉」が春限定玉菓子として発売予定だそうですよ。気になりますね！(N.K)



## パントン・カラー・オブ・ザ・イヤー 2021

パントン・カラー・オブ・ザ・イヤーとは、PANTONE(パントン)社がその時代の背景やトレンドなどから年に一度選ぶ色のこと。この色は、ファッション、ホームファニッシング、製品パッケージなど、多数の業界において製品開発や購入決定に影響を及ぼします。

今年の色は、「アルティメット・グレイ+イルミネイティング」。人々が、不確実性の続く状況を乗り越えるために、気力と明るさ、希望を持って自分自身を強化する方法を模索しているとき、活気に満ち、勇気づけられる色合いは、私たちの活力への探求を満たしてくれます。

イルミネイティングは、生き生きとした輝きを放つ明るく陽気なイエローで、太陽の力を宿した暖かさを与えるイエロー・シェードです。アルティメット・グレイは、永続的でしっかりした基盤をもたらす、強固で信頼できる要素を象徴しています。浜辺の小石の色や、風化した自然の外観は、時の試練に耐える能力を強調しており、落ち着きや安定、回復への思いを促しながら、穏やかに確信をもたらします。

通常、選ばれるカラーは1色なのですが、今年は2色。本当に願いのこもったカラーだと思います。

流行色としてさまざまなところで使用されることが多いので注目してみると面白いですね！(N.K)

